

小学校算数科教育 理論研修会 終了報告

テーマ	算数科における言語活動の充実～算数的表現の指導を通じて～	
日時	平成 27年 7月 9日 (木)	
会場	北広島市立大曲小学校	
講師	細水 保宏 氏 (明星学苑教育支援室長 明星大学客員教授)	
参加者	64名	
研修会 の 様子		<p>明星学苑教育支援室長兼明星大学客員教授の細水保宏氏をお迎えし、「比例と反比例」の授業を公開いただいた後、「算数科における言語活動の充実～算数的表現の指導を通じて～」というテーマで講演をいただきました。</p>
		<p>大曲小加藤学級の6年生と「比例」の学習をしました。始業前。初めて会う子どもたちと「命令ゲーム」で関係を築いていきます。子どもたちも生き生きと活動に取り組み、どんどん引きつけられていました。教科指導だけでなく、学級経営に関わる部分を見せて下さいました。</p>
		<p>「変わると変わる2つの量」について考え、正方形の「1辺の長さ」と「まわりの長さ」の関係をもとに、比例の学習をしました。さらに、「1辺の長さ」と「面積」の関係をもとに、比例しない2量の関係についても学習しました。</p>
		<p>子どもたち一人ひとりをしっかり認めながら学習活動を進めていきます。「絶対?」「本当に?」と考えさせ、「だって」と説明したくなる場面を欠かさず入れます。みんなで考えると、分からなくても聞きたくなります。「分からない」と言える雰囲気作りの大切さについても説きます。子どもたちはテンポ良く数量の関係を発見していききました。</p>
		<p>授業後の講演では、言語活動に関わり、様々な問題を例に挙げて説明されました。参加者は子どもになった気分で、仕組みを見つけようとしていたり、分かった時に歓声を上げたり、あっという間に時間が過ぎてしまいました。参加者にとって大変有意義な時間となりました。</p>